

【論文募集：特集号案内】（英語版の和訳）

Asian Journal of Social Psychology (AJSP) 特集号

「アジアにおける社会心理学理論の脱植民地化：文化・文脈・共同的意味の再生」

1. 趣旨 (Purpose)

Asian Journal of Social Psychology (AJSP) では、特集号「アジアにおける社会心理学理論の脱植民地化：文化・文脈・共同的意味の再生」への投稿を広く募集いたします。

社会心理学の主要理論は、いまだ欧米の前提（自己観、エージェンシー、社会関係の構造）に強く依拠しています。本特集号は、アジアの文化的・歴史的・社会的文脈に即した理論的創造性、認識論的多元性 (epistemic pluralism) を推進し、アジアを「理論生産の中心」として位置づけることを目的とします。

2. 投稿領域 (Scope of Contributions)

以下に限らず、関連テーマを幅広く歓迎します。

- 理論の脱植民地化：欧米心理学概念がアジアの経験をどのように誤解・矮小化するかの実証的検討
- 認識論的代替案：アジアの哲学・思想・歴史・言語を基盤とした土着的・ハイブリッド理論
- 関係性の存在論／倫理：相互依存、調和、義務などを基盤とする心理過程
- 社会的アイデンティティ・歴史記憶：ポストコロニアル文脈での集団記憶、トラウマ、和解
- 脱植民地的方法論：測定、実験、解釈の枠組みを文化的視点から再構築
- グローバル・サウス・ノース対話：アジアの知を世界の理論構築に位置づける比較研究
- 構造的・デジタル文脈：SNS、移民、格差などが知識・アイデンティティを再編する過程
- 応用・実践研究：コミュニティ、政策、参加型研究と社会正義の接続

量的／質的、または混合研究法、概念的論文、理論構築研究など、形式は問いません。

3. キーワード (Keywords)

decolonization, Asian social psychology, indigenous psychology, cultural epistemology, relationality, interdependence, social identity, cultural values, collective meaning, social justice, South-North dialogue, community well-being

4. 編集方針 (Editorial Policy)

- 単なる記述的研究ではなく、理論的貢献・説明力・解釈の深度を求めます。
- 横断研究や自己報告データを含む研究も、理論的革新性・複数研究構成・独自の枠組みがあれば歓迎します。
- 各原稿は AJSP の投稿規程に準拠してください。

5. 日程 (Important Date)

原稿提出期限：2026 年 3 月 31 日（オンライン出版予定：2026 年後半）

6. 投稿方法 (Submission Guidelines)

投稿は AJSP オンライン投稿システムより行ってください：

<https://submission.wiley.com/submission/dashboard?siteName=AJSP>

投稿の際、必ず「Special Issue: Decolonizing Social Psychological Theories in Asia」

と明記してください。

7. 特集号ゲスト編集者 (Guest Editors)

- 笹尾敏明（日本・国際基督教大学）
Email: sasao@icu.ac.jp
- Chan-Hoong Leong（シンガポール・南洋理工大学）
Email: ischanhoong.leong@ntu.edu.sg